

発行 埼玉県議会議員 ^{はしづめ しょうじ} 橋詰 昌児 蒲生3835-1 朝日パリオ越谷南1-111 電話 048-989-1397 FAX 048-611-8683

新型コロナウイルス感染症対策に全力!

埼玉県議会 令和2年2月定例会が開催されました

日頃より皆様には温かいご支援をいただき誠にありがとうございます。
令和2年2月定例会が2月20日(木)から3月27日(金)まで行われました。

新型コロナウイルス感染症が広がりを見せる中、公明党埼玉県議団として、県民の皆様の声を伺い取りまとめ「新型コロナウイルス感染症対策に万全の対策を講じる」よう緊急の要望を行いました。新型コロナ禍の一日も早い収束に向け、全力で取り組んで参ります。

さて、定例会では、公明党から西山淳次議員(団長)が代表質問に、一般質問には安藤友貴議員が登壇しました。西山議員からは、「新型コロナウイルス感染症対策について」や「防災減災を県政の主流に」など6項目について、また安藤議員からは「避難所となる体育館屋根の改修について」など8項目の質問をしました。いずれも、現場の皆様のお声を具体的に届けさせていただきました。

知事からは、新型コロナ拡大防止対策費を含む「令和2年予算案」や「令和元年補正予算案」など83議案が提出されました。

今後も「現場第一」で「スピード感」を大切に頑張ってお参りますので、皆様より一層のご支援をお願い申し上げます。

2020年4月



知事へ緊急要望を行う、公明党県議団

橋詰 昌児 プロフィール

- ◆昭和40年6月生れ 54歳
- ◆国立高知工業高等専門学校卒
- ◆日本IBMに21年間勤務
- 【越谷市議会議員】
- ◎平成19年 市議会選挙で初当選
- ◎市議会議員、農業委員 等歴任3期務める
- 【埼玉県議会議員】
- ◎平成31年4月 県議会議員選挙で初当選
- ◎県土都市整備委員会委員、危機管理・大規模災害対策特別委員会委員
- ◎党・埼玉県本部 広報宣伝局長

埼玉県 新型コロナウイルス感染症 県民サポートセンターが開設!

24時間受付

電話相談窓口 TEL 0570-783-770

電話回線倍増! 皆様に安心をお届け!

県は新型コロナウイルス感染症に関する電話相談窓口を一元化しました。「埼玉県新型コロナウイルス感染症県民サポートセンター」として3月1日から新たに開設。これは、公明党が強く求めていたもので、24時間365日対応での開設が実現しました。開設直後から、つながりにくい状況があったため、公明党県議団が電話回線の増加を要望し、3月10日から回線も倍増(8回線)されました。

◆FAX: 048-830-4808 (※聴覚に障害のある方をはじめ、電話での相談が難しい方)

新型コロナウイルスの影響を受けている中小企業者への金融支援について

(セーフティネット保証に対応しています!)

県では、売上が減少している又は減少が見込まれる中小企業者向けに、「経営安定資金(災害復旧関連)」や「経営安定資金(特定業種関連)」、「経営あんしん資金(新型コロナウイルス特例)」等の制度融資を設けています。【相談窓口】産業労働部 金融課 企画・制度融資担当

電話番号 048-830-3801

〔相談時間: 平日 8:30~17:15〕



LINEでも相談可能に!

QRコードで「友だち追加」をお願いします。

3月24日

「埼玉県-新型コロナ対策パーソナルサポート」が開設されました。これは、埼玉県のLINE公式アカウントと友だちになることで、県民の皆様の状態に合わせた、新型コロナウイルスに関する情報をお知らせするものです。



↓ 県政に関するご意見・ご要望をお寄せください ↓

埼玉県議会 公明党議員団 TEL:048-822-9606 FAX:048-822-9408

6月定例会は、6月15日(月)から7月3日(金)開催予定です。



「令和2年度予算について」×「主な取り組み」

1 私立高校授業料の実質無償化が拡大!

～年収720万円未満のご家庭まで拡大されます～

本年4月から、公明党の強力な推進で、年収約590万円未満の世帯を対象に私立高校授業料の実質無償化が全国で始まります。

埼玉県は、すでに県単独の上乗せをして、年収609万円未満の世帯までの無償化を実現していましたが、今回の国の拡大により、「実質無償化の対象が年収720万円未満まで拡大」が実現します。



©KOMETTO

2 中・高校生のSNS教育相談が大幅に拡充!

昨年度、県立高校(15校)の生徒約9,500人を対象に、SNSを活用した相談窓口を試行的に開設しました。今年度は、利用対象を県内の公立中学校(さいたま市を除く)、およびすべての県立高校の生徒(約34万人)へと大幅に拡充され、生徒の抱える様々な悩みや不安等に



対応していきます。

3 ドクターカーの運行スタート!

重篤患者の救命率向上と後遺症の軽減を図るためドクターヘリの運航を引き続き支援するとともに、新たにドクターヘリが運航できない夜間等も含むドクターカーの24時間運行が実施されます。

- ◎広域運行拠点(さいたま市と日高市)
さいたま赤十字病院
埼玉医科大国際医療センター
- ◎運行時間:365日・24時間



4 プラスチックごみ削減を促進!

地球規模での海洋プラスチックごみ問題は、全ての県民が重要な問題と認識することが大切です。特に、若者に対する意識啓発は最も重要です。今年度「SDGs宣言!埼玉県 x 若者プラごみ削減部」と銘打ち、「ゴミ拾い甲子園」など、様々なイベントが開催されます。

5 プラチナ・サポート・ショップ制度が創設!

高齢者の皆様の安心でいきいきした暮らしの応援のため、「プラチナ・サポート・ショップ制度」がスタートします。高齢者に優しいサービス(配達、送迎、見守りなど)を実施している店舗を紹介します。



2月議会 主な議案



「知事提出議案」

- ◎令和2年度埼玉県一般会計予算・補正予算
(当初予算及び、補正予算の累計額:1兆9,614億3,464万3,000円)
- ◎埼玉県動物の愛護及び管理に関する条例の一部を改正する条例
- ◎埼玉県5か年計画等の変更について
- ◎第2期埼玉県まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定について
- ◎埼玉県子育て応援行動計画の策定について など

「議員提出議案」

- ◎埼玉県ケアラー支援条例(全国初)
- ◎埼玉県受動喫煙防止条例 など12件を可決

「その他の主なもの」

- ◎福祉事務所等の窓口に音声翻訳システムをモデル導入
- ◎被災者支援として半壊特別給付金を新設
- ◎LGBTQ(性的少数者)支援の充実
- ◎スクールロイヤー制度の創設
- ◎越谷警察署の建て替えが決定
- ◎自殺対策として若者向けにSNS相談をスタート
- ◎難病早期診断体制を装備 など



—地域実績—

【レイクタウン西交差点に右折信号を設置】



—視察報告—

SDGs(えすでいーじーず)の取り組みについて



2月5日(水)～6日(木)二日間、公明党県議団として京都市、東大阪市、大阪府に現地視察に伺いました。京都市と大阪府では、「SDGsの先進的な取組」について貴重なお話を伺いました。東大阪市では、「プラごみゼロの取組について」学ばせて頂きましたので、しっかりと県政の中に活かして参ります。



新型コロナウイルス感染症対策に全力!

埼玉県議会 令和2年6月定例会が開催中です

日頃より皆様には温かいご支援をいただき誠にありがとうございます。
新型コロナウイルス感染症拡大の第2波、第3波が懸念されています。
日々、私も県民の皆様の切実な声を伺い、県・国に対し要望を続けております。(県議団要望は9回を超えされました。)新型コロナ禍の一日も早い終息に向け、全力で取り組んでまいります。

6月3日には、これからの本格的な梅雨、台風シーズンを踏まえた災害対応のため、公明党議員団として、県内3ヶ所の現地視察を行いました。(別載)災害備蓄は、各市町が中心ですが、不足分を県が支給する仕組みとなっております。
感染予防などに有効な段ボールベッド配置など、諸課題について今後しっかりと訴えてまいります。

さて、6月定例会が、感染症拡大防止対策を行いながら、6月15日から7月3日の予定で開催されています。新型コロナウイルス感染症拡大防止策と、第2波への備えとして、民間検査機関によるPCR検査体制の充実や、抗原検査の導入などの予算が計上された議案についてしっかりと審議してまいります。

今後も「現場第一」で「スピード感」を大切に頑張っておりますので、皆様の一層のご支援をお願い申し上げます。
2020年6月

橋詰 昌児 プロフィール

- ◆昭和40年6月生れ 55歳
- ◆国立高知工業高等専門学校卒
- ◆日本IBMに21年間勤務

【越谷市議会議員】

- ◎平成19年 市議会選挙で初当選
- ◎市議会議員、農業委員 等歴任3期務める

【埼玉県議会議員】

- ◎平成31年4月 県議会議員選挙で初当選
- ◎県土都市整備委員会委員
危機管理・大規模災害対策特別委員会委員
埼玉環境審議会委員
- ◎党・埼玉県本部 広報宣伝局長

【中央防災基地にて】



避難所の感染症対策の状況を調査



6月3日、川島町にある「埼玉県防災航空センター」「中央防災基地(右写真)」「さいたまスーパーアリーナ内の災害備蓄倉庫」の3ヶ所の現地視察しました。

備蓄品としては、アルファ米や缶入りパンの食料品、毛布や使い捨てトイレなどの生活必需品、防災用資器材を点検しましたが、十分に保管されている状況が確認できました。

しかしながら、感染防止に欠かせないマスクや消毒液、フェイスシールド、段ボールベッド、仕切りパネルなどは十分な備蓄ではありませんでした。

今後、特に感染防止のために必要な備蓄品を洗い出した上で、十分な数を確保するよう県に求めてまいります。

公明オンラインニュースとして動画配信中です!(手話通訳・字幕あり)

公明党県議団として、埼玉県の新型コロナウイルス関連の最新情報と公明党の取り組みをタイムリー、コンパクトにお伝えする「埼玉県議会公明党オンラインニュース」をユーチューブにて随時配信しています。

これまで、「PCRセンターの状況」や「医療体制の充実」、「学校の休校措置や再開」、「持続化給付金」、「困窮学生への支援」など様々な発信を行ってきました。ぜひ、ご覧ください。

★埼玉県議会公明党議員団ウェブサイト

<https://www.komei-saitama.com/> からご覧いただけます。



↓ 県政に関するご意見・ご要望をお寄せください ↓

埼玉県議会 公明党議員団 TEL:048-822-9606 FAX:048-822-9408

6月定例会は、6月15日(月)から7月3日(金)開催中です。



埼玉県・新型コロナウイルスに関連した相談窓口



★詳しくは⇒ http://www.pref.saitama.lg.jp/a0701/covid19/consulting_service.html

相談内容	相談窓口	受付・相談時間等	電話番号
全般的な相談	埼玉県新型コロナウイルス感染症 県民サポートセンター	毎日24時間	0570-783-770(ナビダイヤル) FAX 048-830-4808
中小企業等への支援金 に関する相談	中小企業等支援相談窓口	毎日9時00分から18時00分	0570-000-678(ナビダイヤル) 又は 048-830-8291
ドメスティック・バイオレンス に関する相談	婦人相談センター	月曜日から土曜日:9時30分から20時30分 日曜日・祝日:9時30分から17時00分 (12月29日～1月3日を除く)	048-863-6060
ドメスティック・バイオレンス に関する相談	With You さいたま	月曜日から土曜日:10時00分から20時30分 (祝日・第3木曜日・12月29日～1月3日を除く)	048-600-3800
心の健康 に関する相談	精神保健福祉センター 「埼玉県こころの電話」	月曜日から金曜日 9時00分から17時00分	048-723-1447
心の健康 に関する相談	「新型コロナウイルス感染症 に係るこころの電話」	土曜日・日曜日・祝日 9時00分から16時00分	048-723-6811
心の健康 に関する相談	「新型コロナウイルス感染症 に係るエッセンシャルワーカー のためのこころの相談」	月曜日から金曜日 9時00分から17時00分	048-723-6888
外国人向け相談 (がいこくじんむけそうだん)	外国人総合相談センター埼玉 (Saitama Information & Support)	月曜日(げつようび)から金曜日(きんようび) 9時(じ)00分(ふん)から16時(じ)00分(ふん)まで *祝日(しゅくじつ)、12月(がつ)29日(にち)から 1月(がつ)3日(まにち)を除外(のぞく)。	048-833-3296
外国人向け相談 (がいこくじんむけそうだん)	外国人向け新型コロナウイルス相談 ホットライン (New Coronavirus Consultaion Hotline)	毎日(まいにち)24時間(じかん)	048-711-3025
離職者等への県営住宅 入居相談	住宅課	月曜日から金曜日 9時00分から17時00分	048-830-5564
学校教育 に関する相談	総合教育センター 「よい子の電話教育相談」	毎日24時間	(子供用)#7300 又は0120-86-3192 (保護者用)048-556-0874
児童虐待通報	児童相談所	毎日24時間	189(児童相談所虐待対応ダイヤル) #7171(埼玉県虐待通報ダイヤル)
子供に関する相談 (いじめ・子育て等)	子どもスマイルネット	毎日10時30分から18時00分 (祝日・12月29日～1月3日を除く)	048-822-7007
生活困窮者の 総合相談窓口	各市町の生活総合相談窓口 (越谷市は生活自立相談よりそい(生活福祉課)まで)	月曜日から金曜日 9時00分から17時00分	048-963-9212

越谷市・新型コロナウイルス関連 独自支援策

★詳しくは⇒ http://www.city.koshigaya.saitama.jp/anzen_anshin/covid19/dokujisiansaku/index.html

【越谷市事業継続支援金】

新型コロナウイルス感染症の影響により売上が減少した中小企業者
(法人・個人事業主)の皆さまに支援金(一律10万円)を交付します

- ◆受付期間
令和2年(2020年)8月31日(月曜)まで(当日消印有効)
- ◆申請方法
申請書類一式を下記の宛先に郵送で提出
- ◆お問い合わせ
産業支援課 事業継続支援金担当

048-967-2501/2502

9時00分から17時00分まで(平日のみ)



【越谷市児童扶養手当受給者への臨時給付金】

新型コロナウイルス感染症の影響による経済環境悪化に対する支援として、
越谷市から児童扶養手当を受給するひとり親世帯等に、臨時給付金を支給
します。(1世帯につき5万円)

◆お問い合わせ 子育て支援課(第二庁舎2階)
電話:048-963-9166 ファクス:048-963-3987

【緊急雇用対策として会計年度任用職員を募集】

新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、採用の内定を取り消された方や
雇用主側の事情で解雇された方を対象に、会計年度任用職員(事務職、時給
1,009円)を募集します。

◆お問い合わせ 人事課(本庁舎2階)
電話:048-963-9132 ファクス:048-965-6433

埼玉県議会 令和2年6月定例会が開催されました

日頃より皆様には温かいご支援をいただき誠にありがとうございます。

緊急事態宣言が解除されましたが、有効なワクチンや治療薬ができるまでは、引き続き感染防止に取り組む必要があります。自分の、皆様の大切な人々の「命」を守ることにつながる「新しい生活様式」を一人ひとりが実践し、日常生活に取り入れていくことが必要です。

公明党県議団も県民の皆様の声を伺い、県への要望を続けるなど、新型コロナ禍の一日も早い終息に向け、全力で取り組んでおります。

さて、6月定例会が、感染症対策を行いながら、6月15日から7月3日まで開催されました。公明党の要望が数多く反映した新型コロナ拡大防止対策費が盛り込まれた補正予算も成立しました。少しでも早く、必要な県民の皆様に届けられるように取り組んでまいります。

今後も「現場第一」で「スピード感」を大切に全力で頑張っておりますので、皆様のより一層のご支援をお願い申し上げます。

2020年8月



橋詰 昌児 プロフィール

- ◆昭和40年6月生れ 55歳
- ◆国立高知工業高等専門学校卒
- ◆日本IBMに21年間勤務
- 【越谷市議会議員】
- ◎平成19年 市議会選挙で初当選
- ◎市議会議長、農業委員 等歴任3期務める
- 【埼玉県議会議員】
- ◎平成31年4月 県議会議員選挙で初当選
- ◎県土都市整備委員会委員
- ◎危機管理・大規模災害対策特別委員会委員
- ◎埼玉県環境審議会委員
- ◎党・埼玉県本部 広報宣伝局長



新型コロナウイルス感染症対策に全力!



コロナ対策チーム(COVMAT※)の設置

感染拡大防止の指導をより速やかに!

福祉施設や医療機関などにおける
クラスター対策として、感染症
対策の専門家等で構成された
コロナ対策チーム、
通称COVMAT(コブマツ)が
新設の感染症対策課に設置されました。



(※)COVMATとは COrona Virus Mobile Assist Teamの呼称

災害備蓄の拡充 (詳細は裏面)

避難所において感染防止を図るための物資が備蓄されます。



「越谷防災基地の現地視察を行いました」

『埼玉県LINEコロナお知らせシステム』がスタート!

本人のみならず、家族や大切な人を守りましょう!

埼玉県LINE公式アカウントを活用した感染拡大防止システム
「埼玉県LINEコロナお知らせシステム」を7月10日から開始しました。
当システムは、不特定多数の人が利用する施設や店舗、
イベントで、新型コロナウイルス陽性者と濃厚接触した可能性の
ある方にお知らせするシステムです。

国の接触確認アプリ(COCOA)とあわせてご利用ください。



登録はコチラ



↓ 県政に関するご意見・ご要望をお寄せください ↓

埼玉県議会 公明党議員団 TEL:048-822-9606 FAX:048-822-9408

9月定例会は、9月24日(木)から10月14日(水)開催予定です。



令和2年6月定例会より ～主な議案等について～



県独自の

家賃支援制度



～テナントには県が上乗せ! オーナーには独自支援!～

新型コロナウイルスの影響により、厳しい経営状況に置かれている県内
中小企業・個人事業主等の家賃負担軽減のための支援を行います。

テナントには、上限額:20万円or30万円(支払家賃の1/15を、6か月分)を、オーナー等には、上限額:20万円(減免額の5分の1)が支援されます。

【問合せ先】 埼玉県中小企業等支援相談窓口(埼玉県中小企業・個人事業主等家賃支援金(貸借人)事務局)
電話 0570-000-678(平日・休日とも 午前9時～午後6時)

児童生徒の学びの機会を確保!

県立中学及び特別支援学校、小・中学部における一人一台端末の整備を前倒しするとともに、県立学校における高速大容量の通信回線や、ネット環境がない家庭への貸出用モバイルルーターの整備等を行います。



児童生徒の学びの機会を確保!

外出自粛等のストレスによる児童虐待のリスクが高まっているため、LINEを活用し、子どもや保護者が気軽に、どこからでも相談できる虐待相談窓口が開設されます。

LINE 友だち追加

その他の主な施策

- ◎抗原検査の導入や民間検査機関におけるPCR検査体制の拡充
- ◎新型コロナウイルス感染症対応資金及び経営安定資金の融資枠の更なる拡大(融資枠:8,000億円→1兆2,000億円)
- ◎幼児教育補助金
～幼稚園が購入するマスク、消毒液、空気清浄機など補助(上限50万円)
- ◎修学旅行キャンセル料への支援
- ◎生活福祉資金の特例貸付に対する助成
- ◎ひとり親世帯臨時特別給付金の支給
- ◎コロナ対策特別委員会の設置 など

災害備蓄の拡充!

- 避難者用物資
 - ・マスク(不織布サージカル) 81,300枚
 - ・手指用消毒液 16,800本
- 避難所用物資
 - ・マスク(不織布サージカル) 28,750枚
 - ・使い捨て手袋 287,400枚
 - ・防護服(使い捨てガウン) 14,370枚
 - ・フェイスシールド 14,370個
- 避難所用物資
 - ・非接触型体温計 2,395個
 - ・間仕切り 120セット
 - ・段ボールベッド 120台



「新たに備蓄されるダンボールベッド」



【意見書や決議など】

- 新型コロナウイルス感染症の第二波の到来に備えた万全の体制の整備を求める意見書
- 新型コロナウイルス感染症のワクチン・治療薬の早期開発と承認を求める意見書
- 世界保健機関(WHO)に対し、新型コロナウイルス感染症の初動対応の検証を早急実施するよう要求すること等を求める意見書



- 災害対策基本法において感染症の拡大を「災害」と位置付けることを求める意見書
- 北朝鮮による全ての拉致被害者等の即時一括帰国の実現を求める意見書
- 警察官の増員を求める意見書
- デジタル・ガバメントの着実な推進を求める意見書
- エッセンシャルワーカーに対し敬意と感謝の意を表する決議



埼玉県議会 令和2年9月定例会が開催されました

日頃より皆様には温かいご支援をいただき誠にありがとうございます。
9月定例会が、感染症対策を行いながら、9月24日から10月14日開催されました。新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない中、今議会には、インフルエンザとの同時流行の対策費や、コロナ専用病床の確保費用などを盛り込んだ重要な補正予算が成立しました。

また、閉会后、令和3年度の予算編成にあたり、公明党県議団として現場で伺った意見を反映した286項目の要望書を知事へ提出しました。

今後もコロナ収束を目指し「現場第一」で「スピード感」を大切に全力で頑張っております。
2020年11月



知事へ予算要望を行う、公明党県議団

新型コロナウイルス感染症対策に全力!

とくとく埼玉! 観光応援キャンペーン

一人3,000円のクーポン

★詳細は、県のホームページもしくは、「彩の国だより」をご覧ください。


県内宿泊観光客向けクーポンの配布

宿泊観光客(県民限定)
1人当たり3,000円(10万人分)

GoToトラベル 宿泊利用

宿泊観光客 → クーポン配布 → 宿泊施設

新型コロナウイルス感染症の影響により大きなダメージを受けている観光関連事業者を支援するため、県内に宿泊した県民を対象に土産物店や飲食店などで利用できるクーポンを配布するとともに、観光バスを活用したツアーなどを促進します。



県内の周遊促進

- 県民限定スタンプラリーの実施
- スマホアプリを活用
- 県内観光スポット3か所以上を周遊

抽選で300名に景品を贈呈(最高5万円相当)

観光バスの需要喚起

- 県内発着の県内周遊バスツアーの実施を支援
バス1台につき日帰り:6万円、宿泊:10万円
- 「彩の国『新しい生活様式』安心宣言」の遵守を要件

緊急小口資金等を増額!

新型コロナウイルス感染症の影響で休業や失業し、生活資金にお悩みの皆様に無利子で最大20万円をお貸しするのが「緊急小口資金」です。

コロナが長期化する中、公明党が速やかな財源の積み増しを求めた結果、受付期間が9月末から12月末まで延長されました。



接触確認アプリ等で通知を受けた方全員がPCR検査を受けることができます

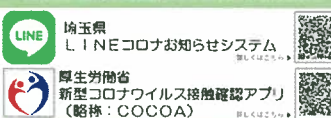
公明党が推進!

公明党県議団は、一部の通知者から「検査が受けられず、自宅待機をしている」などの声を受け、9/25に知事に「通知を受けた人のうち希望者全員が速やかに検査を受けられるようにすべきだ」と要請し、実現しました。



埼玉県では、以下のアプリで通知を受けた方全員がPCR検査を受けることができます

アプリを使うことで、新型コロナウイルス感染者と接触した可能性のある場合に、通知を受け取れます。



陽性者と接触した可能性がある旨の通知を受けた方は、お近くの保健所へ御連絡ください

国と県、両方のアプリを活用!

どちらも使うことで、一層の感染拡大防止効果が期待されます!



★公明オンラインニュースでも紹介しています。ぜひ、YouTubeをご覧ください! ↓



【橋詰 昌児 プロフィール】

- ◆昭和40年6月生れ、55歳
- ◆国立高知工業高等専門学校卒
- ◆日本IBMに21年間勤務
- ◆平成19年市議会選挙で初当選。市議会議員、農業委員 等歴任3期務める
- ◆平成31年4月 埼玉県議会議員選挙にて初当選

県政に関するご意見・ご要望をお寄せください ↓

埼玉県議会
公明党議員団

TEL:048-822-9606 FAX:048-822-9408

12月定例会は、11月30日(月)から12月18日(金) 開催予定です。

高齢者インフルエンザワクチンの予防接種が無料に!

高齢者の皆様が安心して、接種することで、インフルエンザと新型コロナウイルスの同時流行に備えることができます。
また、発熱・咳などインフル患者とコロナ患者の区別がつきにくく、医療現場の負担増や混乱が予測されることも回避できます。



- ◆対象者: ①65歳以上の方
②60～64歳で心臓、腎臓や呼吸器の機能に障がいがあり、身の日常生活が極度に制限される方
③60～64歳でヒト免疫不全ウイルスにより免疫の機能に障がいがあり、日常生活がほとんど不可能な方
- ◆期 間: 10月～12月のワクチン接種分
- ◆お問い合わせ: 市民健康課 電話:048-960-1100 <https://www.pref.saitama.lg.jp/a0701/kansen/fluvc-josei.html>

「知事提出議案」

- ◎令和2年度埼玉県一般会計補正予算
- ◎知事等の給与の特例に関する条例
- ◎埼玉県個人番号の利用等に関する条例の一部を改正する条例
- ◎訴えの提起について(県営住宅)
- ◎令和元年度県の一般会計及び特別会計決算の認定(継続審査)
- ◎令和元年度埼玉県公営企業会計決算の認定(継続審査) など

「意見書」

- 地方財政の充実・強化を求める意見書
- 防災・減災、国土強靱化対策の充実及び延長を求める意見書
- 利根川水系及び荒川水系における大規模水害対策の推進を求める意見書
- 住宅建設における高断熱建材の整備促進を求める意見書
- 地方自治体のデジタル化の着実な推進を求める意見書
- 別居・離婚後の親子の断絶を防止する法整備等を求める意見書
- 自転車ヘルメットの着用の義務化に関する法整備を求める意見書

【埼玉県立大学を視察】

8月28日、公明党県議団で地元・越谷市にある埼玉県立大学を視察しました。同大学は看護師や保健師、理学療法士など、保健医療人材を養成する本県にとって大変重要な教育機関です。

理事長、学長に迎えていただき、とても有意義な視察となりました。また、地域包括ケアシステム育ての親とも言われる田中理事長から同システムについてご講演もいただきました。



【埼玉県職業能力開発センターを視察】

9月11日、公明党県議団でさいたま市北区にある埼玉県職業能力開発センターを視察しました。

同センターは知的障害者や精神障害者の職業訓練を行っており、大変に充実した訓練が行われ、着実な成果が出ていると感じました。さらなる発展へサポートしてまいります。



地域の皆様の安心・安全が広がりました!



信号機の設置を喜ぶ地域の皆様と

信号が設置されました!

越谷・初の「押しボタン式の歩車分離信号機」



【大里東自治会館前】

歩車分離になりました!



【富士中・西(新越谷1-15-1先)】





埼玉県議会 令和2年12月定例会が開催されました

日頃より皆様には温かいご支援をいただき誠にありがとうございます。
12月定例会が、感染症対策を行いながら、11月30日から12月18日まで開催されました。公明党の要望が数多く反映した新型コロナ拡大防止対策費が盛り込まれた補正予算も成立しました。

私は、一般質問に登壇し、コロナ対策をはじめ、子育て支援など、地域の皆様の声を反映した9項目について、知事等へ質問しました。難聴児支援など、多くの前向きな答弁があり、充実した一般質問でした。

コロナの収束がまだまだ見通せない中ですが、「現場第一」で「スピード感」を大切に、皆様に寄り添い、全力で頑張っております。
2021年1月



一般質問を行いました！



接触確認アプリの普及について

Q. 国の接触確認アプリCOCOAは「人に注目」、県のLINEコロナお知らせシステムは「場所に注目」したアプリで、強みの異なる両方のアプリを利用することで、より感染症の拡大防止につながるかと考えるが？

A. このお知らせを受けた方全員が、PCR検査等を受けられることなど、システムの利用をより広範に呼びかけてまいります。

国と県、両方のアプリを活用！
どちらも使うことで、一層の感染拡大防止効果が期待されます！



★公明オンラインニュースでも紹介しています。ぜひ、YouTubeをご覧ください！

疲弊する医療従事者や保健所職員への支援について

A. エッセンシャルワーカーのメンタルヘルスを支援するための「心の相談窓口の設置」や、応援体制の更なる拡充など、職員の負担軽減のため必要な措置を講じてまいります。



〈裏面へ続く〉



新型コロナウイルス感染症対策に全力！



埼玉県指定 診療・検査医療機関検索システム

発熱したら、まず電話！

発熱患者が迷わず地域の医療機関等で受診することができるよう、新型コロナウイルス感染症とインフルエンザ両方の診療を行うことができる医療機関を「埼玉県指定 診療・検査医療機関」として指定、公表しています。

《埼玉県受診・相談センター》

TEL:048-762-8026

受付時間：午前9時～午後5時30分 月～土(祝日含む)



県立高校等の入試対策

- ◆出願方法： 原則郵送でOK
- ◆試験会場の受検生は35人以下
- ◆合格発表はWEB公開09:00-、各学校に掲示10:00-
- ◆追検査に加え、特例追検査を実施

※詳細はwebで→



©KOMEITO

県政に関するご意見・ご要望をお寄せください ↓

埼玉県議会
公明党議員団

TEL:048-822-9606 FAX:048-822-9408

2月定例会は、2月19日(金)から3月26日(金) 開催予定です。



【橋詰 昌児 プロフィール】

- ◆昭和40年6月生れ 55歳
- ◆国立高知工業高等専門学校卒
- ◆日本IBMに21年間勤務
- ◆平成19年市議会選挙で初当選。市議会議長、農業委員 等歴任 3期務める
- ◆平成31年4月 埼玉県議会議員選挙にて初当選

コロナ禍での8050問題^(※)について

Q. 県が中心となり、ひきこもり支援を広域的に推進すべきと考えるがどうか？

A. 保健所やひきこもり地域支援センターが市町村や支援団体と連携し広域的に支援をしてまいります。



(※) 8050問題は80代の親が50代の引きこもりの子供の生活を支えるという問題

県立高校の「電子図書館」の拡充について

Q. 電子書籍を導入する学校を増やすことでスケールメリットも期待される。「電子図書館」の導入を、他の県立高校へも拡充すべきと考えるがどうか？

A. 電子書籍のメリットや課題、スケールメリットが働くかどうかなどを研究し、導入の可能性について検討してまいります。



八潮高校での視察

子育て支援について

◎「結婚新生活支援事業」の拡充について

Q. 自治体負担が軽減される「国のモデル事業」に参加するなど、「結婚新生活支援事業」を進める市町村に対し、県としても積極的に取り組むべきと考えるがどうか？

A. 県として、内閣府に積極的にモデル事業の提案を行い、より多くの市町村がこの事業を実施できるよう後押しし、地域全体で結婚を応援する社会づくりにつなげてまいります。



鴻巣市でお話しを伺いました

◎産後サポート事業の充実について

Q. 「産後ドゥーラ^(※)」の活用の考えは？

A. 県として、産後のサポートの研修会において「産後ドゥーラ」をはじめとする民間を活用し事業を行っている市町村の取り組みなどを紹介し、市町村の産後サポートが充実するよう支援してまいります。



(※) 産後ドゥーラは、家事や育児を手伝うだけでなく、母親が必要なことを察して行ってあげる民間の方々。

難聴対策について

Q. 難聴の早期発見に向けた「新生児聴覚検査への公費助成」や「相談体制確立」への状況は？

A. 公費助成については、ほとんどの市町村が来年度から実施の予定。
また、専門職が適切な情報を提供する相談窓口を設置いたします。

週末里親・季節里親制度の創設について

Q. コロナ禍で児童虐待も増加傾向の中、児童養護施設に入所している児童を、期間限定で、家庭に招き、実際の家庭生活の体験や、ふれあいの場を設けることが、児童にとってかけがいのない経験になる。また、未委託里親にとってもスキル向上につながる、同制度を創設すべきでは？

A. 施設や里親の皆様の意見を伺いながら週末・季節里親制度の具体的な進め方について検討してまいります。



アピアランスケア^(※)について

◎相談体制の充実について

Q. アピアランスケアというと外見にのみ、とらわれがちですが、重要なのは心のケアも行う「相談体制の整備・強化」が必要と考えるがどうか？

A. 県内のアピアランスケアの相談体制の整備・強化を図るため、国立がん研究センター中央病院の協力を得て本県主催の研修会の開催を検討してまいります。

そのうえで、がん治療において中核的役割を果たす病院が相談スキルを持った人材を計画的に育成・配置できるよう支援してまいります。

国立がん研究センターでの視察



(※) アピアランスケアとは、医学的・整容的・心理社会的支援を用いて、外見の変化を補完(必要な方が)し、外見の変化に起因するがん患者の苦痛を軽減するケアのこと

「危険なバス停」対策について

Q. 全国で200か所ある「危険なバス停」について、バス停付近の安全対策についての考えは？

A. 関係する機関・団体が多いため、より緊密に連携し、適切に対応してまいります。

◎その他の質問項目：

- 産後ケア事業の対象期間を産後1年まで延長することについて
- 医療用ウィッグ等の補助制度の創設について
- 補聴器や人工内耳の電源電池の補助金について
- 埼玉県警察運転免許センターの新設について
- 県道平方東京線の拡幅整備について



<12月定例会 主な議案>

◆知事提出議案

- ◎令和2年度埼玉県一般会計補正予算
- ◎一般職・特別職の期末手当の引き下げ
- ◎ソニックシティホール棟大規模改修工事
- ◎県立4病院の地方独立行政法人化 など

◆議員提出議案

- ◎埼玉県迷惑行為防止条例の一部を改正する条例

※詳細は県ホームページをご覧ください。



深谷けんじ

2020年夏
第5号

県議会ニュース



深谷けんじ プロフィール

1974(昭和49年)年9月3日生まれ 45歳
川越市出身
東京農業大学第三高等学校卒
創価大学文学部社会学科卒
公明党県企業局長・青年局次長
福祉保健医療委員会 委員
自然再生・循環社会対策特別委員会 委員



右から2人目が深谷県議(福永信之氏撮影)

コロナ治療のスタッフに感謝 埼玉医科大学総合医療センターを視察

4月28日、埼玉医科大学総合医療センターの新型コロナ専用病棟に伺い、現場の最前線で奮闘する医療スタッフの皆様の声を伺ってきました。病院では、二重三重の防護策を施した上で、スタッフの皆さんは、コロナウイルスに立ち向かう強い決意を持って治療にあたっていました。ナースステーションの壁には「Thank you One Team」と書かれた紙に、病院内のスタッフからのメッセージが。まさに病院一丸となって、ワンチームでコロナウイルスと戦う姿に心から感動し、感謝の気持ちでいっぱいになりました。

4月30日の4月臨時議会及び6月定例議会で開催された福祉保健医療委員会において深谷けんじは、医療現場の声をもとに、医療機関・介護施設等への感染防護具等の早急な配布や、陽性患者を受け入れている医療機関への入院協力金や空床補償に関し、今後の感染拡大を見据え、行政からのさらなる支援が必要であると強く訴えました。また、医療提供体制の強化、医療・介護・障がい福祉サービス分野の従事者に対する慰労金の給付に万全を尽くすよう質疑を展開。埼玉医科大学総合医療センターのスタッフの皆様と継続して意見交換をしながら、医療提供体制の強化へ向けて県執行部に対し提言を続けています。



▲病院内のスタッフからのメッセージ

24時間
365日
対応

新型コロナウイルス感染症 県民サポートセンター

☎0570-783-770

FAX 048-830-4808

- 心配な症状が出た時の対応、予防に関することなどの相談窓口です。

埼玉県 新型コロナ 検索

LINE 埼玉県
LINE公式アカウント

埼玉県
新型コロナ対策
パーソナルサポート



災害時における避難所のコロナ対策を万全に

県施設「埼玉県防災航空センター」「中央防災基地」「さいたまスーパーアリーナ内災害備蓄倉庫」 3カ所の備蓄状況を調査

避難所の感染症対策や出水期の災害に備え、公明党埼玉県議団は6月3日、県施設の備蓄状況を調査しました。

川島町にある中央防災基地は、県に5カ所ある防災基地のうち、災害時に県外からの救援物資の集積・仕分けなどを担い、県全域への支援を展開する輸送拠点です。調査では、倉庫内にある水や非常食、簡易トイレなどの物資が備えられている状況を確認しました。その一方で、避難所での感染症予防に有効なマスクや消毒液、防護服などの資材が十分に確保されていない実態も把握しました。そのため公明党埼玉県議団から県に対し、マスクや消毒液などの感染防護具、段ボールベッドや間仕切り(パーティション)などの備蓄を早急に進めるよう要望を行いました。

各避難所における災害備蓄は市町村の責務ですが、万一不足した場合、県が支援する仕組みとなっています。公明党県議団からの要望を受け、6月定例議会で成立した補正予算には、避難所において新型コロナウイルス感染防止を図るための物資を備蓄し、市町村への支援を強化する内容が盛り込まれました。



▲中央防災基地 一番左側が深谷県議



▲埼玉県防災航空センター 一番左側が深谷県議

補正予算に盛り込まれた避難所用備蓄物資

避難者用物資

マスク(不織布サージカル) 81,300枚
手指用消毒液 16,800本

避難所従事者用物資

マスク(不織布サージカル) 28,750枚
使い捨て手袋 287,400枚
防護服(使い捨てガウン) 14,370着
フェイスシールド 14,370個

避難所用物資

非接触型体温計 2,395個
間仕切り 120セット
段ボールベッド 120台

令和2年
6月定例会

総額1,591億円の新型コロナウイルス感染症対策関連補正予算が成立 コロナ対策特別委員会が設置され深谷県議が委員に選出

令和2年6月定例会は、6月15日から7月3日まで行われ、公明党議員団からは、塩野正行議員が一般質問に登壇しました。

(質問・答弁の詳細は埼玉県議会ホームページをご覧ください)

成立した補正予算には、新型コロナウイルス感染症対策として、PCR検査の拡充及び短時間で感染の判断が可能な抗原検査の導入、医療機関への空床・休床補償や設備整備など様々な支援策が盛り込まれ、クラスター対策として感染症対策の専門家等で構成されたコロナ対策チーム「COVMAT」を設置するなど、感染拡大防止策にも万全を期します。また、医療・介護・障がい福祉サービス分野の従事者への慰労金の支給、事業所の感染症対策への支援などを行います。

7月3日、埼玉県の新型コロナウイルス対応を検証するため、特別委員会が設置。深谷けんじは委員に選出され、医療提供体制から経済対策まで、総合的に検証していきます。

医療・介護・障がい福祉従事者や職員に慰労金を支給

医療	介護・障がい福祉
20万円 実際に新型コロナ患者を診察した医療機関や検査所	20万円 感染者・濃厚接触者に対応
10万円 受け入れ体制を取ったが、新型コロナ患者の診療に至らなかった医療機関	5万円 上記以外
5万円 上記以外の病院や診療所	●患者や利用者と接する職員の方々が対象です。

国の家賃支援給付金

5月の緊急事態宣言の延長等により、売上の減少に直面する事業者の事業継続を下支えするため、地代・家賃(賃料)の負担を軽減する給付金を支給します。

7/14より
申請受付
開始

支給対象 (①②③すべてを満たす事業者)

- ① 資本金10億円未満の中堅企業、中小企業、小規模事業者、フリーランスを含む個人事業者※
※医療法人、農業法人、NPO法人、社会福祉法人など、会社以外の法人も幅広く対象。
- ② 5月～12月の売上高について、
● 1ヵ月で前年同月比▲50%以上または、
● 連続する3ヵ月の合計で前年同期比▲30%以上
- ③ 自らの事業のために占有する土地、建物の賃料を支払い

給付額 法人に最大600万円、個人事業者に最大300万円を一括支給。

算定方法 申請時の直近1ヵ月における支払賃料(月額)に基づき算定した給付額(月額)の6倍

家賃支援給付金コールセンター

平日・土日祝日 8:30～19:00 ☎0120-653-930

埼玉県中小企業・個人事業主等家賃支援金

賃借人に対する家賃支援 (県内中小事業者・個人事業主等)

- 支給対象** 国が支給する家賃支援給付金に県が上乗せして支給
※前年度の月平均売上高が15万円以上であること
- 補助率** 支援家賃の1/15(6ヵ月分) ※国からの給付率2/3の残り1/3の20%
上限20万円(複数店舗賃借している場合は上限30万円)

詳細は
8月中に県HP
にてお知らせ
します

賃貸人に対する家賃支援 (県内の店舗のオーナー等)

- 支給対象** 4月から6月において、以下のいずれかに該当するテナント事業者に対して家賃を2割以上減額した貸主(中小企業・個人事業主に限る)
- いずれか1ヶ月の売上高が前年同月比で▲50%以上
 - 3ヵ月の売上高の合計が前年同期比で▲30%以上
 - テナント事業者は物販やサービスの提供を行う県内店舗であること
- 補助率** 減免した家賃の1/5(最大3ヵ月分) 上限20万円

7/17より
申請受付
開始

埼玉県中小企業等支援相談窓口
平日・土日祝日 9:00～18:00

☎0570-000-678

	支払賃料(月額)	給付額(月額)
法人	75万円以下	支払賃料 × 2/3
	75万円超	50万円 + [支払賃料の75万円の超過分 × 1/3] ※ただし、100万円(月額)が上限
個人事業者	37.5万円以下	支払賃料 × 2/3
	37.5万円超	25万円 + [支払賃料の37.5万円の超過分 × 1/3] ※ただし、50万円(月額)が上限

深谷質問 により

福祉施設の避難体制強化へ前進

災害時における障害児者入所施設の利用者の他施設への一時受け入れに関する協定を締結へ



昨年12月定例会における深谷けんじの一般質問で、災害時、福祉避難所となる施設には元々の入居者がおり集団での受け入れが厳しい現状を踏まえ、避難体制の改善を訴えました。

この質問を受け、県は、県内の入所施設が加盟する埼玉県発達障害福祉協会及び埼玉県身体障害者施設協議会との協定を3月23日に締結しました。

この協定の締結により、県と障害者施設団体が連携し、まずは分散避難の体制を強化することで、災害時における施設利用者等の安全で安心な生活環境の確保が期待されます。

今回、協定の締結という第一歩を踏み出しました。今後、より実効性のある体制となるよう、施設の皆様から様々なご意見を頂きながら、「施設の避難体制」の強化に全力で取り組んでまいります。

昨年の台風第19号で被災した障がい者支援施設(初雁の家)



▲施設の被害状況(昨年10月)



▲浸水時の状況を調査 右から2人目が深谷県議

協定の概要

- 県は、被災施設から一時受け入れの要望があった場合や県から被災施設に一時受け入れを促した場合は、障害者施設団体に協力を要請する。
- 障害者施設団体は、会員施設に一時受け入れの協力を求める。
- 被災施設は、必要に応じ受入施設に職員を巡回・訪問させ、利用者の生活支援を行うとともに、利用者の状況に応じて受入施設と連携し、必要な対応を行う。

県政に関するご意見・ご要望をお寄せください

埼玉県庁 公明党控室

〒330-0063 埼玉県さいたま市浦和区高砂3-15-1
TEL048-822-9606 FAX048-822-9408

自宅事務所

〒350-0015 埼玉県川越市今泉88-14
TEL049-236-2566 FAX048-611-7393

YouTube

埼玉県議会公明党
オンラインニュース



深谷けんじ
ホームページ



埼玉県議会議員

深谷けんじ

2020年
秋・冬
第6号



深谷けんじ プロフィール

1974(昭和49年)年9月3日生まれ 46歳
川崎市出身
東京農業大学第三高等学校卒
創価大学文学部社会学科卒
公明党県企業局長・青年局次長
福祉保健医療委員会 委員
自然再生・循環社会対策特別委員会 委員



7月21日 コロナ病床確保のため工事中の現場を視察 左から3人目が深谷県議



コロナ特別委員会では医療現場の声をもとに追及

コロナ治療最前線の声をもとに論戦

新型コロナ専用病棟では医師や看護師が防護服を着て治療し、診察後は防護服を脱ぎ廃棄します。少しでも油断すれば院内感染を招き、スタッフの家族も感染リスクにさらされます。

一般の外来・入院患者が絶対にコロナに感染することがないように万全を期さねばなりません。埼玉医科大学総合医療センターでは、コロナ患者受入れのために、倉庫などを病室(個室)に改修しています。経営も圧迫しています。

川越市内では、同センターが先頭に立ってコロナ診療にあたっています。深谷けんじは、同センターを何度も訪問し要望を聞いています。

国でなければ解決できない課題があるため9月23日には、西山淳次公明党県議団長、福永前県議会議員とともに西田実仁参議院議員、秋野公造参議院議員(医学博士・公明党医療制度委員会 委員長)を同センターの新型コロナ専用病棟に案内し、治療の最前線で奮闘する医療機関・スタッフの皆様から課題を伺いました【右の公明新聞記事参照】。

丸木清之 埼玉医科大学理事長、堤晴彦 埼玉医科大学総合医療センター病院長からも必要な支援策についての要望を詳細にお聞きしました。

視察結果を踏まえ深谷けんじは、9月定例会の福祉保健医療委員会などで、病床の改修費への支援を求め、コロナ専用医療施設(仮設)の建設について、運用開始後の負担増大が懸念されるとして一層の支援を求めました。

ネットワークで支援

埼玉医科大学大付属病院を視察

川越市で西田、秋野の両氏
換について関係者と意見交
換した。西山淳次、深谷顕
史の両県議が同行した。
同センターは、ベッド数
が1053床で病床稼働率
90%以上。外来患者数は1
日約2100人で、地域の
基幹病院としての役割を担
う。これまでのコロナ対応
としては、重症患者1人を
含む65人の患者を受け入れ
た(9月27日時点)。一般

患者用の病棟や倉庫を改築
し、コロナ患者用に32床を
確保している。また、感染
の予防を徹底している。
意見交換で病院側
は、コロナの影響で悪
化した病院経営の財
政支援や、行政の統制
り解消による現場との
連携強化などを要望。
西田、秋野の両氏は、
これまでのコロナ対応
に感謝の意を示しつつ、
「要望や課題は、国県
市のネットワークを生
かして取り組んでいく
と話した。」

▲10月2日付 公明新聞

令和2年 9月定例会 65歳以上の方等のインフルエンザ予防接種が無償化

コロナ専用医療施設(仮設)を整備へ

令和2年9月定例会は、9月24日から10月14日まで行われ、公明党議員団からは、蒲生徳明議員、権守幸男議員が一般質問に登壇しました。(質問・答弁の詳細は埼玉県議会ホームページでご覧になれます)

今議会で成立した総額1,313億6,011万円となる補正予算では、今後想定される感染拡大期に備え、新型コロナウイルス感染症専用の医療施設を整備する医療機関に対して助成を行うほか、65歳以上の方や60歳～64歳で基礎疾患などがある方のインフルエンザワクチン接種を無償とするため、市町村に補助を行うことなどが盛り込まれました。この補正予算の成立により川越市では、10月1日～1月31日までの期間、対象となる方は無償で接種できます(右図参照)。また、新型コロナとインフルエンザの同時流行に備えた医療提供体制の強化に関する施策を進めます。

9月25日には、「接触確認アプリによる検査の強化を求める要望」を公明党議員団として大野知事に提出。大野知事は、COCOAや「埼玉県LINEコロナお知らせシステム」から通知を受けた希望者全員が速やかに検査できるよう、県内すべての保健所へ徹底しました。

また、9月8日～10日の3日間にわたり、公明党議員団は県内53団体の皆様と意見交換会を行いました。各県議に寄せられた地域要望も加え、令和3年度要望として、10月14日に大野知事に手渡しました。今後の県政へ反映できるよう全力を尽くしていきます。



大野知事へ令和3年度要望 一番右側が深谷県議

川越市インフルエンザ予防接種無償化

対象者	川越市に住民登録を有する方で、接種日時時点で次のいずれかに該当する方 ・年齢が満65歳以上の方 ・年齢が満60歳～64歳の方で、次の①または②のいずれかに該当する方 ①心臓、腎臓または呼吸器に自己の身の辺の日常生活活動が極度に制限される程度の障害を有する方 ②ヒト免疫不全ウイルスにより免疫の機能に日常生活がほとんど不可能な障害を有する方
期 間	令和2年10月1日～令和3年1月31日
接種回数	年度に1回接種
予防接種を受ける場所	市の委託医療機関(お近くの病院・クリニックのほとんどで接種できます) ※市内の委託医療機関は、「健康づくりスケジュール」をご覧ください。
接種方法	・接種を希望する方は、医療機関に予約のうえ、接種してください。 ・住所、氏名、生年月日等がわかる証明書(健康保険証など)を持参してください。 ※その他詳細は、自治会からのご案内や川越市ホームページなどでご確認ください。

(3) 2020年(令和2年)8月7日(金曜日)



昨年の房総半島台風は倒木で電柱に被害が生じた

災害時 停電復旧の連携を 東京電力と協定締結

県

県は6日、東京電力パワーグリッド埼玉総支社(さいたま市、石川文彦支社長)と「災害時における停電復旧の連携等に関する基本協定」を締結した。風害などの災害により広範囲の長時間停電が発生した場合の早期復旧に向け、県と同社と相互に協力する協定となる。内容は、大規模停電の早期復旧に向けた体制・連絡調整に関する協定、停電復旧に向けた作業に関する協定、停電情報等の県民への周知等となっている。

協定の背景は、昨年12月の大規模停電が契機となった。大規模停電は、県民生活や経済活動に深刻な影響がおよぶため、教訓として協定を結んだ。

また2019年12月、県議会で深谷顕史議員が一般質問を行い、県執行部は「できるだけ早く協定を締結する」と答弁していた。

埼玉県と東京電力パワーグリッド(株)埼玉総支社の「災害時における停電復旧の連携等に関する基本協定」について

令和2年8月6日
危機管理防災部災害対策課

風水害等の災害により広範囲の長時間停電が発生した場合の早期復旧に向け、埼玉県と東京電力が相互に協力するための協定を締結。

<内容>

(1) 大規模停電の早期復旧に向けた体制・連絡調整

- ・相互連絡体制を構築
- ・停電の発生状況、道路の寸断状況、及び各々の復旧状況(見込み含)を共有
- ・停電復旧を優先すべき重要施設、避難所等の情報を共有
- ・所有する施設や駐車場等の相互利用

(2) 停電復旧に向けた作業内容

- ・電源車の配備による応急停電復旧
- ・電力復旧に支障となる障害物等を除去

(3) 停電情報等の県民への周知

- ・県民へ停電情報等を周知するため、防災無線など県の広報媒体を活用

▲協定の概要

◀8月4日付 埼玉建設新聞に掲載

「電気が使えない。」そんな日常生活をイメージできるでしょうか。電気がなければ照明がつかないことはもちろん、スマートフォンの充電も、エアコンも動かすことができません。

昨年の房総半島台風(台風第15号)では、千葉県で多数の倒木が発生し、広範囲にわたり電柱や電線などの電力設備に大きな被害が発生。復旧作業が難航したことにより、停電が長期間に及びました。

本年発生した台風第10号においても、鹿児島県では県内のおよそ16%にあたる約18万5000戸で停電が発生し、真夏にエアコンが使用できない危険な状態が長時間続きました。

長期間に渡る停電の要因のひとつとして、電線等の電力設備への倒木撤去に時間がかかったことが挙げられています。倒木が電線に絡まっている場所が多くありましたが、東京電力だけでは倒木を撤去できる装備も人も足りない。

しかし、地域の建設会社だけでは電気事業法により電線に触れることができず、復旧が難しいケースが相次いでいたということです。

こうした課題を解決するため、**深谷けんじ**が会社員時代に**電気主任技術者**として培った知見を活かし、昨年の12月定例会で、停電復旧作業に迅速に取り組むための対策として、本県と電力会社との協定締結を提案しました。

深谷けんじの提案を受け、埼玉県は8月6日、東京電力パワーグリッド(株)と相互に協力するための「災害時における停電復旧の連携等に関する基本協定」を締結。復旧作業が大幅にスピードアップされ、早期の停電解消の大きな力になることが期待されます。

災害対応力の強化とともに、相次ぐ自然災害による停電被害を踏まえ、安定的な電力供給体制を確保するための「電力レジリエンス」を高めていくことが急務です。**深谷けんじ**は、今後も様々な対策を提案していきます。

声をカタチに 小さな声を、聴く力。地域要望が実現



「今成二丁目」及び「上寺山」交差点に右折信号と歩行者用信号設置

埼玉県道160号川越北環状線「今成二丁目」及び「上寺山」交差点に、右折信号と歩行者用信号(今回の設置で4方向すべてに設置となります)が設置され、7月22日から供用開始となりました。近隣の皆様から昨年ご要望をいただき、**深谷けんじ**が県警に粘り強く申し入れを続けた結果、今回の設置となりました。

今年度、埼玉県内の既設道路への右折信号の設置は8箇所予定していますが、その内の2箇所が「今成二丁目」及び「上寺山」交差点への設置となります。

その他、信号機設置要望を頂いている箇所についても粘り強く県に申し入れをしていきます。

通学路の安全確保のため、国道16号古谷上交差点付近の歩道の草刈り

8月16日夜、国道16号古谷上交差点付近の歩道の草刈りのご要望をPTAの方から頂き、**深谷けんじ**は**すぐに現場の確認へ**。古谷小学校に通う児童の皆さんの通学路でもあり、背丈ほどに伸びてしまった草が、歩行の際に危険な状況でした。

翌朝、矢倉かつお参議院議員を通し国交省へ早急な対応を要望。5日後の21日には草刈り作業が完了しました。これからも地域の声に迅速に動き、国・県・市の公明党のネットワーク力を発揮し、子供達の安全対策にも全力を尽くしてまいります。



供用開始となった今成二丁目交差点信号機を現地確認。左より深谷県議・田畑市議、嶋田市議。



工事中の上寺山交差点信号機



草刈り作業前



草刈り作業後

県政に関するご意見・ご要望をお寄せください

埼玉県庁 公明党控室

〒330-0063 埼玉県さいたま市浦和区高砂3-15-1
TEL048-822-9606 FAX048-822-9408

自宅事務所

〒350-0015 埼玉県川越市今泉88-14
TEL049-236-2566 FAX048-611-7393

24時間 365日 対応
新型コロナウイルス感染症県民サポートセンター
☎0570-783-770 FAX 048-830-4808
● 心配な症状が出た時の対応、予防に関することなどの相談窓口です。

YouTube
埼玉県議会公明党
オンラインニュース

LINE 埼玉県LINE公式アカウント
埼玉県新型コロナ対策パーソナルサポート

深谷けんじ
ホームページ

埼玉県議会議員

深谷けんじ

2021年
1月
第7号



深谷けんじ プロフィール

1974(昭和49年)年9月3日生まれ 46歳
川越市出身
東京農業大学第三高等学校卒
創価大学文学部社会学科卒
公明党県企業局長・青年局長
福祉保健医療委員会 委員
自然再生・循環社会対策特別委員会 委員



昨年12月22日 埼玉医科大学総合医療センターの仮設プレハブ病棟建設現場を堤晴彦病院長と視察



昨年12月15日 新型コロナ対策特別委員会で論戦

新型コロナ対策 医療現場の声 県政に

令和3年も深谷けんじは、皆様の声を県政につなぎ、現場第一主義で働いてまいります。

埼玉医科大学総合医療センター(川越市)では、医療スタッフの皆様が一丸となって新型コロナウイルス感染症に立ち向かい、診療にあたってください。川越市民・県民の命を守る砦です。不眠不休で奮闘する医師・看護師の皆様、感謝の思いが尽きません。

深谷けんじはこれまで、同センターを何度も訪問し、堤晴彦病院長をはじめ、医療スタッフの皆様の声を伺ってまいりました。こうしたなか、県内の医療機関がコロナ病床確保のために行った改修工事費への支援がない実状を知り、深谷けんじが委員会での質疑等で強く要望。その結果、改修工事費への支援が決定しました。

昨年11月以降の感染者急増により、重症患者が増加。同センターのコロナ病床は急激に逼迫しました。深谷けんじはすぐさま訪問し、最前線の声をお伺いしました。コロナ病床確保数や利用率といった数値と医療現場の状況には乖離があることを痛感。すでに受入れ能力を超えている可能性もあり、危機感を抱きました。昨年12月に開催された福祉保健医療委員会や新型コロナ対策特別委員会

では、医療現場の声をもとに徹底した論戦を展開。医療機関によって受け入れ患者数の偏りが無いように、分散入院に努めることを要望。同時に、透析患者等に対応可能な病床確保を急ぐよう求めました。また、日々患者を診療している最前線の医師の声が届く専門家会議の設置も提案。専用医療施設(仮設)の建設にあたっては、医療スタッフの確保等の支援を強く求めました。深谷けんじは医療最前線の声をもとに、医療機関・医療従事者へのさらなる支援を求め、県政を動かしていきます。

令和2年12月定例会では、公明党議員団から橋詰昌児議員が一般質問に登壇しました。知事ら特別職と県職員の期末手当を減額する条例改正、県立4病院を地方独立行政法人に移行するための条例など65議案が可決。成立した約19億4千万円の補正予算では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、飲食店等(さいたま市大宮区・川口市・越谷市)への営業時間短縮要請に伴う協力金が盛り込まれました。

1月7日には、緊急事態宣言の発出を受け1月臨時議会が開催。営業時間短縮要請が、県内飲食店へ拡大されることに伴う協力金を盛り込んだ約582億円の補正予算が可決しました。

もし発熱したら受診を! 新型コロナ インフルエンザ 両方の診療・検査ができます

発熱した場合に迷わず地域の医療機関等で受診することができるよう、新型コロナウイルス感染症とインフルエンザ両方の診療を行うことができる医療機関を「埼玉県指定診療・検査医療機関」として指定、公表しています。医療機関をお探しの方は、注意事項をよくお読みになってから検索システムをご利用ください。

パソコン・スマートフォンから

埼玉県指定診療・検査医療機関検索システム

<https://flu-search.pref.saitama.lg.jp/>

- 注意事項(医療現場の混乱を防ぐため、必ずお読みください)**
- 他の症状の患者と接触しないように発熱患者専用の受付時間を設定しています。**必ず事前に電話連絡をしてから受診してください。**
※事前連絡をしないで医療機関に行っても、受診できないことがあります。
 - 検査は、医師が必要と認めた場合に限り行われ、**漠然とした不安がある、陰性証明がほしいという理由での検査はできません。**
 - 診療のみを行い、検査は連携する医療機関等へ引継ぐものも含んでおります。
 - 受診の際はマスクを着用し、医療機関の指示に従ってください。**公共交通機関の利用を控えて受診してください。**

お電話・FAXから

ホームページが見られないなどで、指定医療機関の連絡先を電話で確認したいときは、以下の相談窓口へご連絡ください。

受診先の確認・受診を迷う場合《埼玉県受診・相談センター》

048-762-8026 FAX **048-816-5801**

受付時間 午前9時～午後5時30分月～土(祝日含む)

深谷質問 により

県管理河川の水位計・監視カメラを大幅に増設！ システムも強化！

令和元年12月定例会一般質問で深谷けんじは、令和元年東日本台風(台風第19号)による甚大な被害を踏まえ、河川監視体制の強化を強く求めました。また、台風上陸時に多くの県民の皆様から、「埼玉県川の防災情報ウェブサイト」に配信されていた河川のカメラ画像が見れない、「夜は暗くてよく見えない」との声が多く寄せられたことから、システムの強化についても訴えました。

具体的には、

- ① 危機管理型水位計の大幅な増設
- ② 河川監視カメラの増設、夜間監視能力の強化
- ③ 川の防災情報ウェブサイトへのアクセス集中に対応したシステムの強化

の3点を強く求めました。その後も粘り強く県へ申し入れを続けた結果、今年度、監視体制が大幅に強化されました。

深谷けんじは、「防災・減災対策を県政の主流に」との政治信念で、県民の皆様様の生命を守る施策を今後も推進してまいります。

2 カメラの夜間監視能力強化 令和2年度5箇所機器交換 例:寺尾調整池外観測局



従来カメラに比べ解像度が向上し、細部まで詳細に確認できます。



夜間でも撮影対象が詳細に記録されています。周囲の光源による白飛びも抑制されます。

1 水位計・カメラの大幅な増設

危機管理型水位計

令和2年度 **20**箇所設置中



危機管理型水位計設置例

河川監視カメラ(簡易型)

令和2年度 **21**箇所設置中



簡易型カメラ設置例

30箇所 ▶ 合計**50**箇所

84箇所 ▶ 合計**105**箇所

3 川の防災情報ウェブサイトへの アクセス集中に対応したシステムの強化

従来は約6万アクセスを超えると障害発生

▶ **約48万アクセスまで対応可能**

(昨年の台風第19号の際は6万を超えるアクセスがありました)

埼玉県 川の防災情報

<http://suibo.saitama-river.info/>



決算特別委員会 現場の声をもとに活発な論戦交わす

令和元年度の事業を審査する決算特別委員会が昨年10月20日を皮切りに開催。各部局別に審議され、12月定例会本会議にて報告されました。深谷けんじは、各種団体の皆様との意見交換や地元地域など現場を動かなかで伺った声をもとに、執行部と活発な論戦を交わしました。

下記は令和元年度事業に対し、委員会で多くの質問をした上で、深谷けんじが「改善又は検討を要する事項」として意見・提言をした内容です。

改善又は検討を要する事項

企画財政部

地籍調査事業の進捗率の向上に努めること。

総務部

建設工事における入札については、適正化を推進するとともに、最低制限価格の更なる引き上げを検討すること。

環境部

分散型エネルギーの普及拡大を図るとともに、VPP(仮想発電所)の構築に向けた取組を検討すること。

保健医療部

感染症指定医療機関の見直しの検討も含め、感染症対策の更なる体制強化を図ること。

県土整備部

地域建設業の経営の安定化を図るため、施工時期の平準化を推進するとともに、市町村への周知に努めること。

建設現場における労働環境の改善について、週休2日制モデル工事などの積極的な導入を図るとともに、市町村への周知に努めること。

企業局

県内企業の育成及び災害対策の観点から、公共工事の実施にあたっては、県内企業の更なる受注機会拡大に努めること。

病院局

県立がんセンターにおいて、合併症対策のための診療体制確保の検討を進めること。



県政に関するご意見・ご要望を
お寄せください

埼玉県庁 公明党控室

〒330-0063 埼玉県さいたま市浦和区高砂3-15-1
TEL048-822-9606 FAX048-822-9408

自宅事務所

〒350-0015 埼玉県川越市今泉88-14
TEL049-236-2566 FAX048-611-7393

24時間
365日
対応

新型コロナウイルス感染症県民サポートセンター

☎0570-783-770 FAX 048-830-4808

● 心配な症状が出た時の対応、予防に関することなどの相談窓口です。

埼玉県LINE公式アカウント

埼玉県新型コロナ対策パーソナルサポート

YouTube

埼玉県議会公明党
オンラインニュース

深谷けんじ ホームページ



埼玉県議会議員

深谷けんじ

2021年
春
第8号

深谷けんじ プロフィール

1974(昭和49年)年9月3日生まれ 46歳
川崎市出身
東京農業大学第三高等学校卒
創価大学文学部社会学科卒
公明党県企業局長・青年局次長
産業労働企業委員会 委員
危機管理・大規模災害特別委員会 委員
新型コロナウイルス感染症対策
特別委員会 委員



▲3月24日 埼玉医科大学総合医療センターの仮設専用医療施設を視察する深谷けんじ(右端)



▲施設内に設置されたCT装置 堤晴彦病院長(左)・矢倉氏(中央)・深谷けんじ(右)

新型コロナ 現場で闘う医療従事者に感謝

新型コロナウイルス感染症患者用の病床を設けた医療機関への緊急支援(1床あたり重症者用1,950万円・その他950万円)では、2月末の申請時点で即応病床(受入要請があればいつでも即時受入れ可能な病床のこと)であることが要件になっていました。しかし、仮設専用医療施設の整備を進めていた埼玉県の民間医療機関(6施設・135床)では、完成予定が3月中となっており補助対象外に。「どんなに工事を急いでも2月中の完成は無理だ。このままでは支援を受けられない。」と、医療現場から悲痛な声を伺いました。

深谷けんじは、最前線で必死に闘ってくださっている医療機関に支援が行き届かないことは絶対にあってはならない、必ず支援を届ける。との強い決意を持って県に訴え続けるとともに、この緊急支援が国の制度であったことから、

矢倉かつお参議院議員と連携し、2月3日の内閣・厚労委員会で質問(公明新聞記事参照)。矢倉氏の鋭い追及により、田村憲久厚労大臣から「県が2月末までに受入れ病床としての割当てが確定していれば、補助対象としていく。(要旨)」との答弁を引き出し、同日、厚労省から都道府県へ通知されました。これにより、3月中に完成する仮設専用医療施設を建設した医療機関への支援が決まりました。

3月15日には、埼玉医科大学総合医療センターで行われた、医療従事者へのワクチン接種の現場を視察。24日には、同センターに完成した仮設専用医療施設を、堤晴彦病院長、矢倉かつお参議院議員とともに視察。深谷けんじは、引き続き医療現場の声をもとに、コロナ対策に全力を尽くしていきます。

病床補助弾力的に運用
矢倉氏に政府「仮設プレハブ」巡り
参院内閣、厚生労働両委員会は3日、新型コロナウイルス対策の実効性を高めるための特別措置法等改正案に関する連合審査会を開き、公明党の矢倉氏氏が質問に立った。
矢倉氏は、新型コロナウイルス患者を入院で受け入れるための即応病床を設けた医療機関への緊急支援に関して、今月末の申請期限の時点で実際に存在していることが要件とされている現状に言及。即応病床としてプレハブ仮設病床の整備を進めて



質問する矢倉氏(3日) 参院内閣・厚労連合審査会

いる埼玉県の民間医療機関では、稼働開始が3月末になるケースもあるとして、これらも「補助対象にするべきだ」と訴えた。
田村憲久厚労相は「対象と考えていく」と弾力的に運用する方針を述べた。

▲2月8日付 公明新聞

新型コロナウイルスワクチン接種コールセンター開設

埼玉県コールセンター

☎ 0570-0333-226 (ナビダイヤル)

対応時間 土日祝含む24時間対応

対応内容 接種後の副反応等について、医学的知見が必要となる専門的な相談など、市町村では対応困難なお問合せへの対応等

聴覚障がいの方へ

FAX 048-830-4808

ファックスによるご相談の場合、回答までにお時間をいただく場合があります。

※接種券に関することや接種の方法等については、川越市の相談窓口にお問合せください。

※ワクチン接種後、しばらくしてから慢性的な麻痺や痺れなどの症状が現れた場合、まずはかかりつけ医や接種した医療機関に御相談ください。かかりつけ医等では対応が困難な場合には、県の指定する専門医療機関の紹介を受けてください。専門医療機関では、相談や受診の調整を行うほか、かかりつけ医等からの相談も受けております。

川越市 新型コロナワクチンコールセンター

川越市民の方や医療機関からの接種手続き等に関するお問い合わせに対応しています。

☎ 0120-385-015

受付時間 毎日午前9時から午後5時まで

対応内容 接種券に関することや接種の方法等について

厚生労働省 新型コロナワクチンコールセンター

コロナワクチン施策の在り方等に関するお問い合わせ

☎ 0120-761-770

受付時間 毎日午前9時から午後9時まで

令和3年度
予算が決定

新型コロナ対策、防災・減災に重点

令和3年2月定例会は、2月19日から3月26日まで開催。

令和3年度当初予算では、公明党議員団からの予算要望も多く盛り込まれ、総額2兆1,198億4,300万円の予算が成立。新年度は、3つの柱の政策を中心に取り組んでいきます。1つ目の柱は、新型コロナウイルス感染症対策や入間川流域緊急治水対策プロジェクト(下図参照)をはじめとした県土強靱化を図り、防災・減災対策を強力に推進する「安心・安全の強化」です。

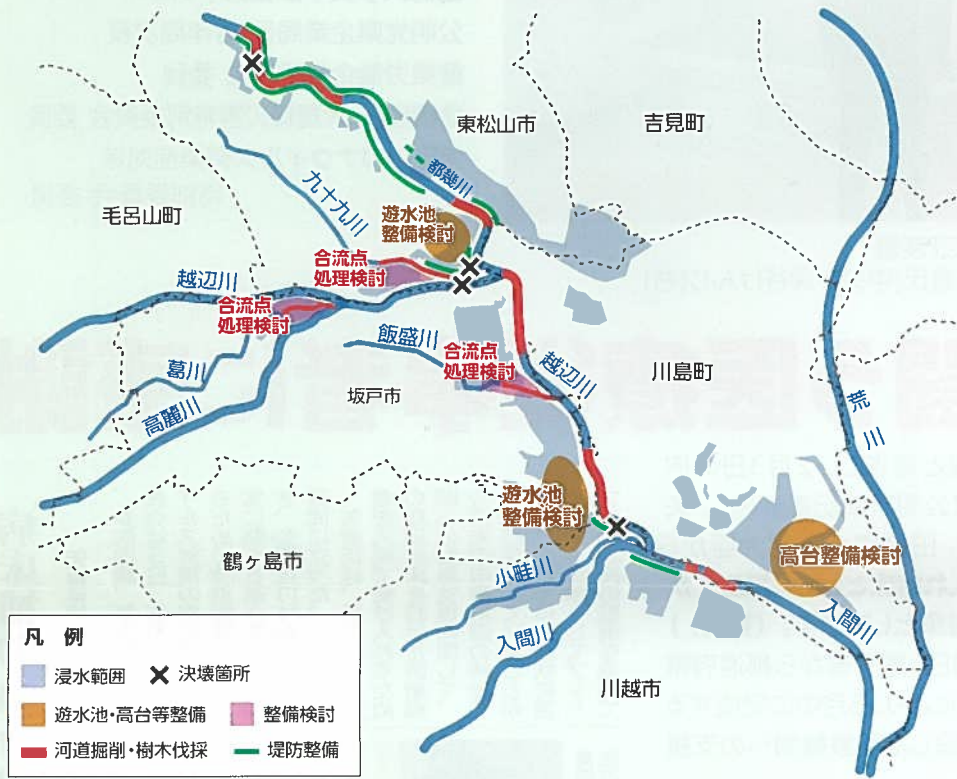
2つ目の柱は「DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進と県経済の回復、成長」として、行政のデジタル基盤の確立を進め、県内中小企業に対してデジタル化によるビジネスモデルへの転換を支援していきます。

3つ目の柱は、埼玉版SDGsの推進をはじめとした「持続可能で豊かな未来への投資」に取り組めます。令和3年度も引き続き、新型コロナウイルス感染症対策を最重要課題として、危機感と緊張感を持って対応していきます。

入間川流域緊急治水対策プロジェクト

令和元年東日本台風により甚大な被害が発生した入間川流域において、「入間川流域緊急治水対策プロジェクト」を推進しています。

令和3年度も引き続き、国、県、市町が連携し、下記の取り組みを実施していくことで、社会経済被害の最小化を目指します。



①多重防御治水の推進【河道・流域における対策】

河道の流下能力の向上 ・河道掘削、樹木伐採、堤防整備

遊水・貯留機能の確保・向上 ・遊水池整備等

目標	台風第19号洪水における入間川、越辺川、都幾川からの越水防止
全体事業費	約318億円
災害復旧	約21億円
改良復旧	約298億円
事業期間	令和元年度～令和6年度



土地利用・住まい方の工夫

- ・浸水が想定される区域の土地利用制限(災害危険区域の設定)
- ・家屋移転、住宅の高上げ(防災集団移転促進事業等)
- ・高台整備(避難場所等に活用)
- ・土地利用に応じた内水対策の検討(雨水流出抑制対策、合流点処理検討等)

②減災に向けた更なる取組の推進【ソフト施策】

- ・自治体との光ケーブルの接続
- ・越水・決壊を検知する機器の開発・整備
- ・危機管理型水位計、簡易型河川監視カメラの設置
- ・台風第19号の課題を受けたタイムラインの改善
- ・他機関・民間施設を含めた避難場所の確保
- ・講習会等によるマイ・タイムライン普及促進
- ・広域避難計画の策定
- ・要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進
- ・水のう等、水防活動資材の確保
- ・緊急排水作業の準備計画策定と訓練実施、排水ポンプ車の配備
- ・防災メール等を活用した情報発信の強化
- ・防災行政無線の戸別受信機整備等

声をカタチに 小さな声を、聴く力。地域要望が実現



国道16号「卸商団地入口」交差点に歩行者用信号設置

交差する市道横断用の歩行者用信号機が設置され、2月24日から供用開始となりました。この横断歩道は通学路になっており、児童・生徒の安全確保のため保護者から要望をいただき、深谷けんじは県警に粘り強く要望してきました。保護者の方からは「本当に嬉しい。地域の皆さんも喜んでいいる。」との声をいただきました。引き続き、通学路の安全対策に全力で取り組んでまいります。



▲保護者の方と現地確認する深谷けんじ ▲設置された歩行者用信号機

諏訪町22先・熊野町6先交差点に信号機新規設置

長年の要望が実り、信号機が新規設置されました。平成25年から、地域の皆様と近藤よしひろ市議会議員が地道に要望を続けてこられ、深谷けんじも県警に申し入れをしてきました。地域の皆様からは、「事故が多く長年の懸案だった。近藤市議と一緒に取り組んできたので本当に良かった。」と喜びの声をいただきました。公明党のネットワーク力を発揮し、これからも地域要望の実現に全力を尽くします。



▲地域の皆様、近藤市議と現地確認する深谷けんじ(左から2番目) ▲新規設置された信号機

県政に関するご意見・ご要望をお寄せください

埼玉県庁 公明党控室
〒330-0063 埼玉県さいたま市浦和区高砂3-15-1
TEL048-822-9606 FAX048-822-9408

自宅事務所
〒350-0015 埼玉県川越市今泉88-14
TEL049-236-2566 FAX048-611-7393

24時間 365日 対応
新型コロナウイルス感染症県民サポートセンター
☎0570-783-770 ☎048-830-4808
●心配な症状が出た時の対応、予防に関することなどの相談窓口です。

LINE 埼玉県LINE公式アカウント
埼玉県新型コロナ対策パーソナルサポート

YouTube
埼玉県議会公明党
オンラインニュース

深谷けんじ
ホームページ